

## 施工 BIM におけるマネジメント技術に関するシンポジウム

我が国に BIM が紹介されてから 10 年以上が経過し、多くの企業において BIM ソフトウェアが導入され始めている。建築プロジェクトへの参加企業の多くが BIM を使える状態になり始めた現在において、BIM がいよいよ普及し始めていると感じているが、マネジメントに関する 2 つの問題が生じていると感じている。1 つ目の問題は、共通の BIM データを様々な専門性を有する設計者や施工者が同時に利用するための体制に関してである。建築プロジェクトの各段階で求められる「図面」を作成する手順が、BIM データから必要な図面を「出力」する手順に変化すると、これまで一般的に用いられてきた建築プロジェクトの体制や計画方式が BIM を導入した途端に機能不全を起こす可能性もある。また、実施設計図、施工図、総合図、承認図などの建築プロジェクトの進行に応じて作成される各種図面の役割の見直しも必要になってくると考えられる。2 つ目の問題は、BIM データの作成と利用に関する技術開発についてである。精緻な BIM データの作成を支援する AI、BIM データから部材・部品を作成する技術、BIM データと完成した建築物との齟齬を発見する計測技術など、様々な周辺技術が必要となる。特に BIM データと実際に完成した建築物の出来形の差異をどのように扱うべきか考える必要がある。

本シンポジウムはこれら 2 つのマネジメントに関して、様々な知見を有する専門家に講演をしてもらい、BIM を通じて変化する建築産業の姿について議論することを目的としている。

**主 催** 日本建築学会 材料施工委員会／建築生産運営委員会・施工 BIM 小委員会

**日 時** 2019 年 10 月 4 日(金) 13 時 30 分～17 時

**会 場** 建築会館ホール（東京都港区 5-26-20）

### <プログラム>

1. 施工 BIM 小委員会活動報告 石田航星（早稲田大学）
2. 施工 BIM における導入事例の紹介（発表：25 分、質疑応答：5 分）
  - ① BIM データを活用した情報化生産システムについて 原 英文（長谷工コーポレーション）
  - ② 国外の設計施工分離発注方式における施工 BIM の活用事例について 元地 敏哉（熊谷組）
3. 施工 BIM に関連する情報化技術の事例について（発表：25 分、質疑応答：5 分）
  - ③ BIM データと施工結果を照合する技術の展開と課題 高林 弘樹（建築研究所）
  - ④ 施工 BIM と計測情報の連携 山田 寿夫（トプコン）
  - ⑤ 施工図の床面自動描画による生産性向上（仮） 酒本 晋太郎（新菱冷熱工業）
4. まとめ 10 分

**定 員**：200 名

**参加費**：会員 2,000 円 会員外 3,000 円 学生 1,000 円（資料代含む／当日払い）

**Web 申込み**：<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=624200> よりお申し込み下さい。

**問合せ**：事務局事業グループ 及川 TEL 03-3456-2051